

感情・人格心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》上河邊 力 (心理科学部)

【概要】

人格心理学は、人間の個人差や性格形成のメカニズムを科学的に探求することを目的とした科目である。本授業では、人格理論、性格測定的手法、遺伝と環境の影響、さらには人格と心理的健康との関連について学ぶ。この科目は、臨床心理学におけるクライアントの特性理解や支援計画の策定において重要な基盤を提供する。また、人格理論は心理療法のアプローチを選択・適用する際の指針ともなる。公認心理師養成課程において、本科目は心理アセスメントや介入の実践的スキルを補完する役割を担っている。

【学修目標】

人格心理学の基本理論を理解するために、主要な人格モデルや研究成果について理解する。
人格評価のスキルを身につけるために、基本的な性格測定法について理解する。
ビッグファイブ理論やその他の人格モデルを説明し、それぞれの特徴や違いを述べられる。
性格検査の結果分析、臨床的な文脈での活用法に触れる。
子ども、青年、成人それぞれの発達段階における人格発達の課題を理解し、臨床現場で活用可能な支援方法を提案できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

公認心理師、臨床心理士

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関（精神科、小児科）や教育機関（小・中学校）における公認心理師としての実務経験を通して得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。